

## 環境予防医学

### 著書

- 1) 塩飽邦憲: 宮原伸二編: 福祉医療用語辞典, 創元社, 大阪, 1-343, 2006
- 2) 塩飽邦憲: 超高齢・人口減少社会におけるコミュニティケアの展望. 青木佳之, 宮原伸二, 小田兼三編: コミュニティケアマネジメント 保健・医療・福祉のネットワークング, 医歯薬出版株式会社, 東京, 12-20, 2006

### 学術論文

- 1) Enkhmaa B, Shiwaku K, Anuurad E, Nogi A, Kitajima K, Yamasaki M, Oyunsuren T, Yamane Y: Prevalence of the metabolic syndrome using the Third Report of the National Cholesterol Educational Program Expert Panel on Detection, Evaluation, and Treatment of High Blood Cholesterol in Adults (ATP III) and the modified ATP III definitions for Japanese and Mongolians. *Clinica Chimica Acta* 352: 105-113, 2005
- 2) Shiwaku K, Nogi A, Kitajima K, Anuurad E, Enkhmaa B, Yamasaki M, Kim JM, Kim IS, Lee SK, Oyunsuren T, Yamane Y: Prevalence of the metabolic syndrome using the modified ATP III definitions for workers in Japan, Korea and Mongolia. *Journal of Occupational Health* 47: 126-135, 2005
- 3) Enkhmaa B, Shiwaku K, Katsube T, Kitajima K, Anuurad E, Yamasaki M, Yamane Y: Mulberry (*Morus alba* L.) leaves and their major flavonol quercetin 3-(6-malonylglucoside) attenuate atherosclerotic lesion development in LDL receptor-deficient mice. *The Journal of Nutrition* 135: 729-734, 2005
- 4) Shiwaku K, Anuurad E, Enkhmaa B, Nogi A, Kitajima K, Yamasaki M, Yoneyama T, Oyunsuren T, Yamane Y: Predictive values of anthropometric measurements for multiple metabolic disorders in Asian populations. *Diabetes Research and Clinical Practice* 69: 52-62, 2005
- 5) Katsube T, Watanabe M, Yamasaki M, Kitajima K, Yamane Y, Shiwaku K: Dietary antioxidants for prevention of cardiovascular disease. *Journal of Rural Medicine* 1: 4-14, 2005
- 6) Osada T, Tamamaki N, Song SY, Kakazu N, Yamazaki Y, Makino H, Sasaki A, Hirayama T, Hamada S, Nave KA, Yanagimachi R, Yagi T: Developmental pluripotency of the nuclei of neurons in the cerebral cortex of juvenile mice. *The Journal of Neuroscience* 25: 8368-8374, 2005
- 7) Esumi S, Kakazu N, Taguchi Y, Hirayama T, Sasaki A, Hirabayashi T, Koide T, Kitsukawa T, Hamada S, Yagi T: Monoallelic yet combinatorial expression of

- variable exons of the protocadherin-alpha gene cluster in single neurons. *Nature Genetics* 37: 171-176, 2005
- 8) Imashuku S, Kakazu N, Ueda I, Morimoto A, Harada H, Teramura T, Tamura S, Fukushima-Nakase Y, Kuroda H: Response to imatinib mesylate in a patient with idiopathic hypereosinophilic syndrome associated with cyclic eosinophil oscillations. *International Journal of Hematology* 81: 310-314, 2005
  - 9) Kobayashi K, Usami I, Kubota M, Nishio T, Kakazu N: Chromosome 7 abnormalities in acute megakaryoblastic leukemia associated with Down syndrome. *Cancer Genetics and Cytogenetics* 158: 184-187, 2005
  - 10) 塩飽邦憲: 特集 トキソプラズマ症 ペットからうつる病気. *からだの科学* 242: 46-49, 2005
  - 11) 荻原 忠, 塩飽邦憲, 草野 健, 蛇沼俊枝, 柳沢素子: 生活習慣病予防のためのこれからの食生活. *日本農村医学会雑誌* 53: 924-927, 2005
  - 12) 堀内信之, 西垣良夫, 小口真司, 塩飽邦憲, 松永 剛, 坂井博之, 佐藤英嗣, 鈴木長男, 内川公人, 村松紘一, 矢島伸樹: 病原媒介性マダニ類の刺咬症とその感染症の臨床疫学的調査研究—第 2 報. *日本農村医学会雑誌* 54: 50-64, 2005
  - 13) 乃木章子, 塩飽邦憲: 質疑応答 和食で不足または過剰となる栄養素. *日本医事新報* 4237: 100, 2005
  - 14) 内藤宗紀, 岩本正敬, 日比谷健司, 山崎雅之, 北島桂子, 米山敏美, 塩飽邦憲: 島根県益田地域における事業所規模別労働者の健康格差. *島根医学* 25: 87-93, 2005
  - 15) 佐々木宏之, 椋木昌子, 塩飽邦憲, 春木宥子, 中島雪夫: 島根県安来市・能義郡における健康診断の事後措置の実態と課題. *島根医学* 25: 94-103, 2005
  - 16) 花岡秀明, 村木敏明, 乃木章子, 木原勇夫, 矢倉千昭, 塩飽邦憲: 健康関連 QOL 向上を目指した肥満改善プログラムの有効性に関する検討. *総合リハビリテーション* 33: 951-957, 2005
  - 17) 塩飽邦憲, 馬庭 隆: 認知症 (痴呆性) 高齢者への多様なサービスモデル構築と効果的運用に関する研究. *島根大学医学部環境予防医学, 出雲市外 6 市町広域事務組合共同研究報告: 2005*
  - 18) 塩飽邦憲, 内藤宗紀, 岩本正敬: 小規模事業場の産業保健管理と地域産業保健センターの在り方に関する研究—小規模事業所に働く労働者の健康実態. *島根大学・益田市医師会共同研究報告書: 2005*
  - 19) 塩飽邦憲: 代謝症候群 Metabolic syndrome の病態と予知因子の解明. *島根難病研究所平成 16 年度研究事業報告書: 21-28, 2005*
  - 20) Katsube T, Imawaka N, Kawano Y, Yamazaki Y, Shiwaku K, Yamane Y:

- Antioxidant flavonol glycosides in mulberry (*Morus alba* L.) leaves isolated based on LDL antioxidant activity. *Food Chemistry* 97: 25-31, 2006
- 21) Fujihara J, Yasuda T, Shiwaku K, Takeshita H: Frequency of a single nucleotide (A2317G) and 56-bp variable number of tandem repeat polymorphisms within the deoxyribonuclease I gene in five ethnic populations. *Clinical Chemistry and Laboratory Medicine* 44: 1188-1191, 2006
  - 22) Kakazu N, Abe T: Multicolor banding technique, spectral color banding (SCAN): new development and applications. *Cytogenetic and Genome Research* 114: 250-256, 2006
  - 23) Akiyama K, Yusa K, Hashimoto H, Poonepalli A, Hande MP, Kakazu N, Takeda J, Tachibana M, Shinkai Y: Rad54 is dispensable for the ALT pathway. *Genes to Cells* 11: 1305-1315, 2006
  - 24) 渡部麻実子, 塩飽邦憲: 消化管寄生虫症の最近の話題 無鉤条虫症・有鉤条虫症. *Journal of Gastrointestinal Research* 14: 369-372, 2006
  - 25) 嘉数直樹, 塩飽邦憲: 染色体解析の歴史と展開ーヒト染色体数決定から 50 年. *島根医学* 26: 221-228, 2006
  - 26) 塩飽邦憲, 山崎雅之, 乃木章子, 渡部麻実子: 高炭水化物食の代謝症候群および糖尿病に及ぼす影響. 千代田健康開発事業団第 51 回社会厚生事業助成医学研究報告集: 102-109, 2006
  - 27) 並河 徹, 益田順一, 塩飽邦憲, 山口修平: 一般市民の長期追跡調査による生活習慣病の遺伝疫学的研究. 島根難病研究所平成 17 年度研究事業報告書: 32-40, 2006
  - 28) 塩飽邦憲, 北島桂子: 北東アジアの開発に伴う健康問題 東アジアにおける農村の発展と環境. 東アジア「条件不利」地域研究会報告: 113-138, 2006

#### 学会発表

- 1) Shiwaku K, Nogi A, Kitajima K, Yamasaki M, Anuurad E, Enkhmaa B, Yoneyama T, Yamane Y: Triglyceride levels are ethnic-specifically associated with tan index of stearoyl-CoA desaturase activity and n-3 PUFA levels in Asians. 1st International Congress on "Prediabetes" and the Metabolic Syndrome. Berlin, Germany, April 2005
- 2) 塩飽邦憲, 山崎雅之, 北島桂子, 乃木章子: 日本人労働者における過体重者 (23.0-24.9BMI) の循環器疾患危険因子保有の状況. 第 78 回日本産業衛生学会. 東京, 2005 年 4 月
- 3) 山崎雅之, 内藤宗紀, 岩本正敬, 北島桂子, 塩飽邦憲, 山根洋右: 小規模事業場の産業保健管理と地域産業保健センターの在り方に関する研究. 第 78 回

- 日本産業衛生学会. 東京, 2005 年 4 月
- 4) 井山ゆり, 塩飽邦憲, 乃木章子, 北島桂子, 山崎雅之: メタボリックシンドローム教育介入プログラムの参加者評価. 第 78 回日本産業衛生学会. 東京, 2005 年 4 月
  - 5) 塩飽邦憲: 北東アジア人における肥満とインスリン抵抗性の関係. 第 48 回日本糖尿病学会年次学術集会. 神戸, 2005 年 5 月
  - 6) 塩飽邦憲: 自然あふれる共生のまちづくりにむけて—大学の立場から. 島根大学「地域医療シンポジウム」in 雲南 第 3 回企画自然あふれる共生のまちづくり! 島根の地域医療 2005. 雲南, 2005 年 5 月
  - 7) 勝部拓矢, Enkhmaa B, Anuurad E, 山崎雅之, 塩飽邦憲, 山根洋右: 桑葉の主要フラバノールであるクエルセチンマロニルグルコシドの LDL 受容体欠損マウスにおける動脈硬化抑制作用. 第 37 回日本動脈硬化学会総会. 東京, 2005 年 7 月
  - 8) 北島桂子, 山崎雅之, 乃木章子, 塩飽邦憲: LDL サイズと肥満, 高中性脂肪血症についての民族比較研究. 第 37 回日本動脈硬化学会総会. 東京, 2005 年 7 月
  - 9) 乃木章子, 北島桂子, 山崎雅之, 塩飽邦憲: LDL サイズと生活習慣の関連. 第 37 回日本動脈硬化学会総会. 東京, 2005 年 7 月
  - 10) 塩飽邦憲, 北島桂子, 山崎雅之, 乃木章子: 電機泳導法または高速液体クロマトグラフィーによって分離した LDL サイズと動脈硬化危険因子の関連. 第 37 回日本動脈硬化学会総会. 東京, 2005 年 7 月
  - 11) 山崎雅之, 北島桂子, 乃木章子, 塩飽邦憲: マウスにおける高炭水化物食のメタボリックシンドローム発症に及ぼす影響. 第 37 回日本動脈硬化学会総会. 東京, 2005 年 7 月
  - 12) 勝部拓矢, Enkhmaa B, 北島桂子, 塩飽邦憲: 桑葉主要フラボノールであるクエルセチンマロニルグルコシドの LDL 受容体欠損マウスにおける動脈硬化抑制作用. 第 16 回中国四国生体ラジカル研究会. 高知, 2005 年 7 月
  - 13) 柳生茂希, 森本 哲, 田村真一, 家原知子, 細井 創, 杉本 徹, 嘉数直樹, 藤木 敦, 中瀬葉子, 黒田啓史, 今宿晋作: PBSCT, BMT に関連して, 同一クローンにおいて t(2;3)(p21;q36) と Ph 染色体が異時性に生じた二次性 AML. 第 67 回日本血液学会・第 47 回日本臨床血液学会・合同総会. 横浜, 2005 年 9 月
  - 14) 幸谷 愛, 嘉数直樹, 鶴山竜昭, 岡崎一美, 村松正道, 本庶 佑: Emu-cmyc トランスジェニックマウスに発症する B 細胞リンパ腫における AID の関与の検討. 第 67 回日本血液学会・第 47 回日本臨床血液学会・合同総会. 横浜, 2005 年 9 月

- 15) 塩飽邦憲, 山根洋右: [シンポジウム] 地域における保健・医療・福祉のネットワークづくり 健康なまちづくりのための健康政策科学の展開. 第 54 回日本農村医学会学術総会. 軽井沢, 2005 年 10 月
- 16) 米山敏美, 乃木章子, 山崎雅之, 北島桂子, 塩飽邦憲: 日本型食生活の栄養学的検討(1). 第 54 回日本農村医学会学術総会. 軽井沢, 2005 年 10 月
- 17) 乃木章子, 北島桂子, 山崎雅之, 米山敏美, 塩飽邦憲: 健康教育介入による内臓肥満変化と代謝パラメータ改善との関係. 第 54 回日本農村医学会学術総会. 軽井沢, 2005 年 10 月
- 18) 山崎雅之, 米山敏美, 北島桂子, 乃木章子, 塩飽邦憲: 高繊維食のメタボリックシンドローム予防効果に関する研究. 第 54 回日本農村医学会学術総会. 軽井沢, 2005 年 10 月
- 19) 塩飽邦憲, 樽井恵美子, 日比谷健司, 北島桂子, 山崎雅之: サービス類型別の要介護度追跡による介護保険サービスの評価. 第 9 回日本健康福祉政策学会学術総会. 三鷹, 2005 年 11 月
- 20) 西本美和, 岩永俊博, 塩飽邦憲, 松田正己: 専門職に必要な能力ってなあに? 困った場面や困難事例から学ぶ. 第9回日本健康福祉政策学会学術総会. 三鷹, 2005 年 11 月
- 21) 塩飽邦憲: 機能性食品としての桑葉とその抗酸化物質の抗動脈硬化作用. 植物の機能性を活かした産業創出フォーラム. 出雲, 2005 年 11 月
- 22) Shiwaku K, Kitajima K, Yamasaki M, Yoneyama T, Yamane Y, Nogi A, Watanabe M, Oyunsuren T, Lee SK: Obesity-related metabolic disorders and food-lifestyle for workers in Japan, Korea and Mongolia. The 10th Asian Congress of Agricultural Medicine and Rural Health. Kinugawa, Japan, November 2005
- 23) Hibiya K, Shiwaku K, Kitajima K, Yamasaki M, Yoneyama T, Yamane Y: Significance of *Mycobacterium avium* infection in slaughter pigs with regard to public health. The 10th Asian Congress of Agricultural Medicine and Rural Health. Kinugawa, Japan, November 2005
- 24) 山崎雅之, 内藤宗紀, 岩本正敬, 北島桂子, 渡部麻美子, 塩飽邦憲: 小規模事業場の産業保健管理と規模別健康格差. 日本産業衛生学会中小企業安全衛生研究会第 39 回全国集会. 福岡, 2005 年 12 月
- 25) 塩飽邦憲, 北島桂子: 北東アジアの開発にともなう健康問題. 島根大学・寧夏大学国際共同研究所落成記念国際シンポジウム 東アジアにおける社会発展と環境のあり方を考える. 松江, 2005 年 12 月
- 26) 塩飽邦憲, 渡部麻美子: 個人情報保護と医学看護学教育. 第 16 回日本医学看護学教育学会学術学会. 丸亀, 2006 年 3 月
- 27) 塩飽邦憲: [シンポジウム] グローバルな視点から見た日本人の健康特性一

- 遺伝子多型と生活習慣を踏まえた研究戦略 メタボリックシンドローム・2  
型糖尿病と生活習慣. 第76回日本衛生学会総会. 宇部, 2006年3月
- 28) 山崎雅之, 塩飽邦憲: 高繊維食と高アミロース米食のメタボリックシンドロームと糖尿病に対する効果. 第76回日本衛生学会総会. 宇部, 2006年3月
- 29) 柴田 宏, 熊倉俊一, 益田順一, 塩飽邦憲, 山口清次: 病院職員における風疹, 麻疹, ムンプスウイルス抗体保有率と感染既往, ワクチン接種歴との関係. 第80回日本感染症学会総会. 東京, 2006年4月
- 30) 塩飽邦憲, 竹下達也, 中路重之, 佐藤 洋, 広瀬俊雄: [鼎談] 地方の時代の産業保健. 第79回日本産業衛生学会. 仙台, 2006年5月
- 31) 乃木章子, 山崎雅之, 井山ゆり, 渡部麻実子, 塩飽邦憲: 健康教育介入による体重減少と代謝パラメータ改善との関係. 第79回日本産業衛生学会. 仙台, 2006年5月
- 32) 山崎雅之, 内藤宗紀, 岩本正敬, 渡部麻実子, 塩飽邦憲: 小規模事業場の規模別健康格差. 第79回日本産業衛生学会. 仙台, 2006年5月
- 33) 渡部麻実子, 山崎雅之, 乃木章子, 塩飽邦憲, 井山ゆり: 健康教育介入による体格と代謝パラメータの改善. 第79回日本産業衛生学会. 仙台, 2006年5月
- 34) 塩飽邦憲: 生活習慣変容によるメタボリックシンドロームの改善効果. 第49回日本糖尿病学会年次学術集会. 東京, 2006年5月
- 35) Shiwaku K, Yamasaki M, Watanabe M, Yoneyama T, Nogi K: Lifestyle and obesity-related metabolic disorders in North-east Asia. 10th International Congress on Obesity. Sydney, Australia, September 2006
- 36) 塩飽邦憲, 渡部麻実子, 山崎雅之, 米山敏美, 乃木章子: 北東アジア人の $\beta_3$ -アドレナリン受容体遺伝子多型と肥満. 第55回日本農村医学会学術総会. 名古屋, 2006年10月
- 37) 米山敏美, 山崎雅之, 渡部麻実子, 乃木章子, 塩飽邦憲: 日本型食生活の栄養学的検討(2). 第55回日本農村医学会学術総会. 名古屋, 2006年10月
- 38) 山崎雅之, 米山敏美, 渡部麻実子, 乃木章子, 塩飽邦憲: 低 Glycemic Index 食による抗肥満, 抗メタボリックシンドローム効果. 第55回日本農村医学会学術総会. 名古屋, 2006年10月
- 39) 渡部麻実子, 乃木章子, 山崎雅之, 米山敏美, 塩飽邦憲: 健康教育介入による体重と体組成の変化. 第55回日本農村医学会学術総会. 名古屋, 2006年10月
- 40) 乃木章子, 楊井理恵, 渡部麻実子, 山崎雅之, 米山敏美, 塩飽邦憲, 井山ゆり: 健康教育介入による内臓肥満変化と代謝パラメータ改善との性別比較. 第55回日本農村医学会学術総会. 名古屋, 2006年10月

- 41) 高久智生, 宮澤啓介, 嘉数直樹, 大屋敷一馬: Hypereosinophilic syndrome (HES)における FIP1L1-PDGFR $\alpha$  融合遺伝子陽性率と臨床像の検討. 第 68 回日本血液学会・第 48 回日本臨床血液学会合同総会. 福岡, 2006 年 10 月
- 42) 山崎雅之, 渡部麻実子, 乃木章子, 塩飽邦憲: 日本人の BMI と心血管疾患リスクファクター. 第 50 回中国四国合同産業衛生学会. 米子, 2006 年 11 月
- 43) 塩飽邦憲: アジアにおける肥満関連疾患の特徴と対策. 第 20 回島根大学医学部医師会学術講演会. 出雲, 2006 年 12 月